

## 平成30年度 国民保護事業報告

### 1 全国瞬時警報システム（Jアラート）の更新

#### （1）新型受信機の導入

- 大規模災害の多発等により、Jアラートによる情報伝達機会の増加、一回当たりの配信情報量の増加が見込まれることから、動作の信頼性を高めるため、新型受信機へ更新
- 帯広市では、今年度、新型受信機への更新を実施（平成31年3月完了予定）

### 2 Jアラートによる情報伝達試験の実施

- 国民保護事案想定として4回、自然災害想定として2回（うち、1回は荒天のため中止）実施。
- 消防庁からの信号の受信、市役所システムの自動起動、市内の学校施設への自動転送、学校内の非常放送設備から緊急放送、という一連のシステム動作について確認。
- 試験の結果、一部の施設では正常に放送が流れない場合があり、調査等を実施。  
不具合の原因は以下のとおり。
  - ・ Jアラート信号を転送する無線システムの故障によるもの
  - ・ 放送を流すための非常放送設備の故障によるもの
  - ・ 無線システム等の操作の不備によるもの

---

## 平成31年度 国民保護事業計画（案）

### 1 Jアラートによる情報伝達試験の実施

- 国の試験実施スケジュールをもとに、帯広市として計画的に試験等を行う。
- システムの維持管理等を適切に行う。